

社会貢献事業

シニアワークプログラム

東毛支部シニアワークプログラム

東毛地区では、今回2回目となるシニアワークプログラム造園講習会が平成26年9月9日～9月19日の中での8日間、群馬県緑化センターにて行われました。55才以上で就労意欲のある、30名の受講者を対象に、造園に対する基礎的な知識を習得し、再就職を目的に実施されました。群馬県長寿社会づくり財団による、委託を受けての事業に対し会場となった緑化センターは、とても施設が充実しております。様々な樹木が植栽されており、和・洋風などの見本庭園、花時計の花壇、芝生広場等緑化環境が整備されており、この様な環境下で、支部会員の講師の講義は受講者側にも理解しやすく、向上心も高まり大変有意義な講習会だったと思われま

最終日の合同面接会は東毛支部を中



心に12社の参加があり、今年度も受講者の多くが造園業に、再就職をされました。今後の御活躍を期待いたします。(株)カネサ園・澤口 浩美

中毛支部シニアワークプログラム

このプログラムは、55歳以上で就労意欲のある方を対象に、30名定員のところ55名の応募がありました。このことから人生の奥深さを経験した先輩方にとって、造園業という職種がいかに魅力的なものかを痛感いたしました。日々の仕事と捉えるとマンネリ化したことも、受講生の方々には、新鮮で楽しい講義の日々であったと思われま

講師の方にお尋ねしても、学科よりも竹垣の施工やガーデニングや剪定作業をしている時が皆楽しそうであったそうです。実際に前橋総合運動公園にての樹木剪定実習を拝見した際、3人1組で1本の樹木の1本の枝を真剣な眼差しで考えながら大事に剪定をしている姿は、印象に残っております。受講生の方々が初日のオリエンテーションで「自宅の松の剪定を今回の受講で覚えたい」とお話ししたことに関し、講師より「松はそんな短期間では覚えることはできない」と返し、造園という世界

観はそんなに甘いものではないことを初日で論じたことも印象的でした。私が社会人1年目に埼玉の造園業者での修行では、サツキの寄せ植えをゆっくり丁寧に刈り込み剪定しても、親方やお施主様から「よくできた」と褒められました。しかし昨今の個人邸では、大半その様な施工は認められない世の中になっております。この度の受講者が造園業で即戦力になるのは難しいことですが、人生の先輩方に「ずっと1日中、草をむしってください」と言うのも気が引ける思いもいたします。合同面接会では、事前にもっと互いの意を組んだマッチングを考えることも今後課題だと感じました。

(上武緑化(株)・加藤 学)



委員会報告

●総務委員長

川原田 和広 (宥安中造園)

今年度より二年間総務委員長を務めることになりました川原田と申します。宜しくお願い致します。

総務委員会の担当としましては、5月の総会、10月の関東四県公園緑地協議会は群馬県が開催県となりました。1月には新年会の開催、4月頃には社会保険未加入対策についての研修会などを行う予定になっております。その他、協会皆様のお役にたてる研修・講習会を開催していきたいと考えております。

各委員会をはじめ協会の皆様とのパイプ役として、専務理事、事務局と連携を密にし協会の意識向上と造園業界の発展に繋がるよう努めていきたいと思

●技術委員長

北爪 満 (宥富士造園)

この度、技術委員長に任命されました、北爪です。何分初めてのことばかりで、いろいろとご指導頂くことが多いかと存じますが、何卒よろしく願い致します。

さて、今年度技術委員会です。主に取り組む事業として、造園技能講習会、安全衛生大会、共同購入事業、農業管理指導士更新研修会があります。すでに、造園技能講習会は7月26日(土)の猛暑のなか実施致しました。受講者は汗だくで必死に実技課題に取り組んでいました。今後も技能の継承と発展の為にも、本協会員の中から講習会を通じて一人でも多くの造園技能士を誕生させたいと思

います。また、安全衛生大会につきましては別に記載致しました。共同購入事業について、造園建設業における様々な物品・サービスがある中、本協会員が満足

できるよう心掛けて選別していきたいと思

●広報委員長

山田 篤志 (株山晃)

今期も引き続き広報委員長を務めることになりました山田です。

今期からの広報活動としては、地域貢献活動として「みどりの清掃」総合的に協会活動等を紹介する「広報誌みどり」の2本立と、前期より1つ事業が少なくなりましたがその分「より広報らしい活動」にふさわしい内容の刷新・充実を図りながら事業を進めているところです。おかげさまで前期からの目標であった「盛り上げる」「アピールする」についても会員及び関係各位様のご尽力により、少しずつ達成されつつあります。今期はこれをさらに推し進め群馬県造園建設業協会の存在価値を少しでも高める力になればと考えています。今後ともご指導ご協力をお願い申し上げます。